

軍事極秘

自昭和十九年十二月一日  
至昭和十九年十二月三十一日

陣中日誌

BATCH 1786  
ITEM 55

獨立速射砲第二十二大隊第二中隊



Card # 1131

RS 78370  
Cincpac C. cpoa  
B- 15153  
Okinawa May 46

164  
227A  
12  
日

十一月一日

晴

令 出 閣

一 〇八三。陣地構築作業ニ從事ス

二 一七〇〇大山嶽遺跡司は、號演習爲メ大山附近陣地構築作業ヲ

一部中止シ高畑中尉以下二四名中隊復歸ス

三 一六〇〇高日命第四一號ヲ受領別綴(第一號)ス

四 自十一月三日  
至十二月六日 間運番勤務員左ノ如シ

運番士官 陸軍中尉 高畑 浩

同 下士官 同 伍長 鈴木政雄

同 上等兵 同 上等兵 重森慎二郎

五 本口憲者状況左ノ如シ

新憲 一名 (急務大腸炎)

六 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇四

十一月二日

一 〇八〇。中隊長ハ進級者ノ命令下達シタル後訓示ス

曇二 〇八三〇陣地構築作業ニ従事ス

間三 第十四週傳術科週期暨履修定表作成別綴(第二號)ス

令本 四 一一〇。速ニ作命甲第十一號ヲ愛領別綴(第三號)ス

五 右作命ニ基キ左記中隊命令ヲ下達ス

中隊命令

十月二日 間

1. 已該演習ニ關スル大隊ノ企図速ニ作命甲第十一號ノ如シ
2. 中隊ハ大隊ノ企図ニ基キ速ニ獨立步兵第十四隊地區内ノ至リニ完成スルト共ニ我如古ニ移駐シ中街道以西(大謝名)ノ嘉敷(中街道)中街道(含マズ)ノ地區内ニ陣地ヲ占領シ主力ヲ以テ修正面ヨリ南下スル敵ニ對シ一割ニ以テ海正面ノ敵ニ對スル如ク其ノ火力ヲ準備セントス

3. 第一小隊ハ大謝名東端ヨリ八五三高地ニ亘ル間ニ陣地ヲ占領シ野灣方向及海正面ヲ射撃シ得ル如ク陣地ヲ占領ス
4. 第二小隊ハ八五三高地ノ中街道ニ亘ル間ニ陣地ヲ占領シ

隊正面ヲ斜射シ得ル如ク陣地ヲ占領スベシ

5. 指揮班ハ八五三高地ニ待ニ掩蔽部及觀測所ヲ構築スベシ

6. 彈藥小隊ハ嘉敷團兵隊及西側高地ニ待息掩蔽部及彈藥ノ構築ヲ構築スベシ

7. 陣地ノ細部ハ現地ニ於テ示ス

8. 工事ハ速ニ對空施設ヨリ着手シ遷クモ昭和三年二月末日迄ニ完成ス

9. 予ハ當分城間ニ在リ

中隊長 西本光雄

大現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇四

十月三日 八三〇陣地構築作業ニ従事ス

曇二 情記事項ナシ

城間三 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇四

十月四日 晴 城間

一 〇七〇 勅諭奉讀式ヲ行フ

二 〇八三〇 陣地構築作業ニ從事ス

三 現在人員 將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇四

十月五日 晴 城間

一 〇八三〇 陣地構築作業ニ從事ス

二 〇八三〇ヨリ中隊長大山嘉敷附近ノ陣地復察ヲ實施シ二二〇歸隊入

三 〇九四〇頃第一小隊第一分隊横穴陣地坑道天盤ヲ掘取眞性珊瑚礁長サ

二米二〇幅一米八〇厚サ三〇程大(モノ)ヲ崩落シ作業中ノ等兵田守弘

委傷七箇ヲ癒蓋是置ヲ構シ軍醫診斷後小那覇野戰病院ニ入院ス

結果 左下腿複雜骨折(胫骨及腓骨)

右事故ニ甚キ細心ノ注意ヲ以テ作業スルハ勿論第一歩先

シテ留難ヲ施ス如ク注意ス

四 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

十月六日 雨 城間

一 〇八三〇 指揮班第二小隊ハ陣地構築作業ニ從事ス

二 第一小隊彈藥小隊ハ休養ス

三 一〇〇〇中隊長以下五名大山附近ノ陣地復察ヲ實施一大〇歸隊入

四 現在人員 將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

十月七日 雨 城間

一 〇八三〇 第一小隊彈藥小隊ハ陣地構築作業ニ從事ス

二 指揮班第二小隊大山派遣隊ハ休養ス

城間

現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

十月八日

城間

一 〇七〇 詔書奉讀式ヲ實施終テ苛烈ナル現戦局ニ鑑ミ  
「戦局ト我等ノ覺悟」ニ就テ訓話ス

二 〇三三 丙號戦備下令セラル

三 〇八三 陣地構築作業ニ從事ス

四 〇八三 村上曹長ハ部隊副官ニ同行シ我如古及西原故營ニ  
住シ一八一〇歸隊ス

五 一五週 學術科週間實施豫定表作成別綴(第五號)ス

六 自十月九日 間週番勤務員左如シ  
至十月十六日

週番士官 陸軍准尉 高橋儀助

同 下士官 同 兵長 廣谷武一

同 上等兵 同 上等兵 猪瀬平三

七 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

十月九日

城間

一 〇八三 陣地構築作業ニ從事ス

二 〇八三 中隊長以下四名大山嘉敷附近ノ陣地偵察ヲ實施(二二三〇  
歸隊ス)

三 一三二 村上曹長以下二名設營シ我如古へ出發シ一八一〇歸隊  
ス

四 〇八二 遠ニ作命甲第十二號ヲ受領別綴(第五號)ス

五 右作命ニ基キ左記中隊命令ヲ下達ス

中隊命令

十月九日 一八三

一 中隊ハ速ニ作命甲第十二號ニ基キ十月十一日我如古ニ移駐第ニ中  
隊ト宿營地區ヲ交代シ「げ」號宿營陣地構築ヲ實施セントス

二 古山中尉ハ作業隊長トナリ別紙編成表ノ人員ヲ以テ現陣地構築

命令

多前隊

十月十日

城間  
時後曇

作業ヲ續行シ遅クモ十二日末日迄ニ概成スベシ

三 指揮班 彈藥小隊並ニ大山派遣隊ハ十月十日各現位置ヨリ出  
發シ一二三〇迄ニ我如古ニ移駐スベシ

爾余ハ高畑中尉ヲ指揮ヲ以テ十月十日二〇〇迄ニ我如古ニ  
移駐スベシ

四 予ハ十一月二日ニ以テ我如古ニ在リ

西本光座

六 現在在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

一 中隊戰術編成ヲ改正 編成表別綴(第六號)ス

二 「け」演習ニ基キ中隊士力並ニ城間作業隊編成表作成別綴  
(第七號)ス

三 〇九三〇村ト會長以下前子先發トシテ我如古ニ出發一〇三〇 一 全員入  
一〇八三 作業隊 第一四六 分隊ハ陣地構築作業ニ從事ス

二 作業隊第一三五 分隊ハ休養ス

三 城間作業隊第一三五 分隊陣地構築作業中 上等兵佐藤為雄ハ一六〇  
〇頃足ヲヒラキ約三米ノ個所ヨリ構築中ノ壕ニ墮落時一幸  
ニ打撲傷ヲ受ケ一セロ本部隊醫務室ニ入室ス

四 高日命四三號ニ基キ一等兵中川豊作ハ本部隊鍛工場勤務シタメハ  
三〇出發ス

五 部隊糧秣監視兵トシテ勤務中ノ一等兵酒井三郎ハ一六三〇中隊  
復歸ス

命令 六一六〇〇左記日命ヲ受領ス

高橋 部隊日々命令

十月十三日 大原

陸軍上等兵 賀上 勝

部隊自治掛ヲ命入

本日ノ定時退治左ノ如シ

八 奎 一 名 (輝部打撲傷)

八 現在人員

將 校 三 准士官 一 下士官兵 一〇四

三月十四日

曇夜雨

我如古

一 〇八三〇作業隊第一三五分隊陣地構築作業ニ從事ス

二 作業隊第二四六分隊及城向作業隊ハ休養ス

三 自一六三〇中隊長ハ兵長以上ニ對シ白紙戰術ヲ實施下級將

部トシテハ構ニ就テ學科ス

四 現在人員

將 校 三 准士官 一 下士官兵 一〇四

三月十五日

雨

我如古

一 〇六三〇諸勤務者以外全員降雨ヲ衝イテ陣地構築作業ニ從事

ス

二 第一大連隊射科連間實施地決定表作成別綴(第一〇號)ス

三 二〇〇〇大山作業隊高橋准尉以下三二名我如古ニ移駐ス

四 一六〇〇八隊中、一隊兵糧不足次郎・上野正治ノ兩名治療醫院

歸隊ス

大 現在人員

將 校 三 准士官 一 下士官兵 一〇五

三月十五日

曇

城 間

我如古

一 古山中尉以下三名ヲ城間作業隊トシテ殘置〇八三〇〇陣地

構築作業ニ從事ス

二 〇九三〇中隊長以下三五名移駐シメ城間ヲ出發シ一〇〇〇我如古

ニ到着ス(中隊主力、移駐完了)

三 我如古宿營面裏面作成別綴(第八號)ス

四 一六〇〇遠ニ露命第五號ヲ受領別綴(第九號)ス

五 一六〇〇左記日命ヲ受領ス

高橋新隊日々命令

三月十五日 一六〇〇

命 令



十二月十三日 陸軍准尉 高橋儀助

部隊巡察將校ヲ命ス

六 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇五

十月十二日

昨夜末、大降雨ニ依リ作業ハ待機ス

我如古

一 自一三〇〇 陸軍司法官 高橋准尉學科入

命令

二 自一四〇〇 戰陣訓 戰陣士 就テ中隊長 學科入

三 一六〇。左記日命ヲ受領ス

(一) 高橋部隊日々命令 十二月十二日 大原

イ 隊 陸軍一等兵 中川豊作

五 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇五

三 一昨十三日 受傷入室中、上等兵佐藤為雄 附添トシテ一等兵上野

正治ヲ〇ハ〇。本部醫務室ニ出ス

命令

一六〇。左記日命ヲ受領ス

(一) 高橋部隊日々命令

十二月十七日 陸軍中尉 高畑 浩

十二月二十日 陸軍准尉 高橋儀助

部隊巡察將校ヲ命ス

五 自十一月十六日 間 週番勤務員左ノ如シ

週番士官 陸軍中尉 高畑 浩

同 下士官 同 兵長 大窪 勇作

同 上等兵 同 上等兵 村上 三郎

六 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三



十月十六日

小雨

連日降雨ニテ悪条件ナルモ全員士氣旺盛ニテ八三〇ヨリ陣地構築作業ニ従事ス

我如古

一四〇〇石部隊本部ニ於テ實施ノ内務掛打合せニ高橋連尉出席シ一六〇〇歸隊ス

十月十六日一六〇〇

命令三 一六〇〇左記日命ヲ受領ス  
一 高橋部隊日々命令  
一 部隊巡察將校ハ宿舎ノ間西原及我如古宿舎地内ヲ巡察スヘシ 第一第三中隊長ハ適宜城間官城作業地ニ巡察將校ヲ派遣スベシ

2. 十月十八日ヨリ三日間左記ニヨリ下士官以下ノ月例身体検査ヲ實施ス

十月十九日一四三〇イ隊本部警務室 十月廿一日〇イ隊城間作業隊

四 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

〇八三〇 訪勤務者以外全員陣地構築作業ニ従事ス

自一五〇〇 岡本軍曹外一名作業會報ニ出席ス

三 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

一 號演習ニ基テ大隊長ノ訓練アリ〇七五フテ隊長ヨリ全員ニ對シ傳達ス

二 對シ傳達ス

訓示要旨左ノ如シ

1. 作業軍紀ノ振作

2. 作業ト偽裝ノ併行

3. 即戰即應ノ維持

二 〇八三〇陣地構築作業ニ従事ス

三 本日ノ處着状況左ノ如シ

新患 一名 (カタル性黄疽)

十月十八日 晴

我如古

一	號演習ニ基テ大隊長ノ訓練アリ〇七五フテ隊長ヨリ全員ニ對シ傳達ス
二	對シ傳達ス
三	訓示要旨左ノ如シ
1.	作業軍紀ノ振作
2.	作業ト偽裝ノ併行
3.	即戰即應ノ維持
二	〇八三〇陣地構築作業ニ従事ス
三	本日ノ處着状況左ノ如シ
	新患 一名 (カタル性黄疽)

四 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

二月十九日

一 〇八三〇 陣地構築作業ニ從事ス

二 一四三〇ヨリ本部醫務室ニ於テ下士官以下ノ月例身体検査ヲ實施ス 兵一般ノ健康状態概チ良好ナリ

三 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

我如古

二月二十日

一 〇八三〇 高橋准尉内務教育ヲ實施ス

二 〇八三〇 中隊長「士氣ノ昂揚ニ就テ」精神訓誥ヲ實施ス

三 一六〇〇 左記ノ命ヲ受領ス

高橋部隊日々命令

二月二十一日

高畑中尉

二月二十日 一六〇〇

命令

部隊巡察將校ニ限スヘシ

四 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

二月二十日

一 〇八〇〇 加藤上等兵以下六名松丸大受領ノ夕ノ伊保濱ニ出席ス

二 一五二〇 歸隊ス

三 〇八三〇 陣地構築作業ニ從事ス

四 一五〇〇ヨリ大隊本部ニ於テ實施シ内務掛打合せニ高橋准尉出席ス

五 一七〇〇 歸隊ス

一八五〇 台湾軍全地区警戒警報發令セラル

五 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

二月二十日

一 〇八三〇 陣地構築作業ニ從事ス

二月二十日  
我如古

如古

二 〇九二五警戒報解除セラル

三 等士週學術科週間實施豫定表作成別綴(第七張)入

四 自十月三十日 間週番勤務員左、如シ

週番士官 陸軍准尉 高橋儀助

同 下官 同 兵長 藤田勝雄

同 上等兵 同 上等兵 北山 榮

五 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

十月十三日

小雨

我如古

命令

一 〇八三〇陣地構築作業ニ從事ス

二 二三〇〇丙嶽戦備下令セラル

三 一六〇〇左記日命ヲ受領ス

高橋部隊日々命令

十二月二十五日 高橋准尉

十二月二十六日 高畑中尉

頭等ノ連リ部隊巡察將校ニ服スベシ

四 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

十月十四日

晴

我如古

命令

一 〇八三〇陣地構築作業ニ從事ス

二 本部醫務室ニ入室中、上等兵佐藤為雄一等兵上野正治退

室ス

三 一四五〇丙嶽戦備解除セラル

四 一六〇〇左記日命ヲ受領ス

一) 高橋部隊日々命令

十月二十五日作業會報ヲ實施スルニ付各隊長ハ〇九〇迄本部

へ集合スベシ

五 本日、處者狀況左、如シ

陸

軍

新患一名 (急性咽喉炎)

六 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇五

十二月五日

我如古

「大正天皇祭ニ就テ」中隊長訓話ス

〇八三〇陣地構築作業ニ從事ス

〇六〇〇大隊本部ニ於テ實施ノ作業會報ニ中隊長出席シ

二〇〇講隊ス

四〇一三三〇本部醫務室ニ於テ第一回赤痢豫防接種ヲ實施ス

五 一六〇〇左記日命ヲ受領ス

命令

一 高橋部隊日々命令

十二月五日 一六〇〇

一 明後二十七日教育會報ヲ實施スルニ付將校全員ヲ入ルル本部  
集合スベシ

陸軍伍長 鈴木政雄

三

六 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇五

十二月五日

我如古

〇八三〇陣地構築作業ニ從事ス

二 城間作業隊上等兵羽部隊圍照ハ急性咽喉炎ニテ受診中ノ處悪

感甚シク發熱不動ナルニ依リ本部醫務室ニ入室ス

命令

一六〇〇左記日命ヲ受領ス

十二月五日 一六〇〇

一 高橋部隊日々命令

高日命第五三號第一項ヲ明後二十八日ニ変更ス

四 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇四

三

三

長  
三  
前  
隊

十一月二十七日

我如古

命令

- 一 只三〇陣地構築作業ニ從事ス
- 二 高日命第五三號ニ基ク格闘射撃研突訓練專修員トシテ鈴木伍長〇六三〇参加シ一五三〇歸隊ス
- 三 入室中ノ羽部上等兵附添トシテ粒末一等兵ヲ本部醫務室ニ出入
- 四 一六〇左記日命ヲ受領ス
  - (一) 高橋部隊日々命令
  - 十二月三十日 高橋准尉
  - 十二月三十日 高畑中尉
- 五 願書ヲ通リ部隊巡察將校ニ販スベシ
- 五 現在人員
  - 將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三

十一月二十八日

我如古

命令

- 一 自〇三五〇中隊長「日本精神ニ於テ精神訓誥ヲ實施ス
- 二 〇六〇大隊本部ニ於テ實施ノ教育合日報ヲ將校全員出席ス
- 三 干前中全員ニテ彈藥ノ移置址薪搬送ニ從事ス
- 四 一三三〇ヨリ本部醫務室ニ於テ第一團三種混合豫防接種ヲ實施ス
- 五 現在人員
  - 將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇三
- 一 一般休養ス
- 二 入室中ノ羽部上等兵粒末一等兵一四〇〇退室ス
- 三 第十八團學術科實施豫定表作成別綴(第十二號)ス
- 四 二三〇〇丙號戰備下令セラル
- 五 一七〇速ニ作命丙第六號ヲ受領別綴(第十三號)ス
- 六 自十一月三十日 間週番勤務員左如シ
  - 週番士官 陸軍曹長 村上五郎

十一月二十六日

我如古

命令

置番下士官 陸軍兵長 高林義雄  
 同 上等兵 同 上等兵 後藤 涉  
 七 現在人員  
 將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇五

十月三十日

一 〇八三〇陣地構築作業ニ從事ス

晨 我如古

二 一五〇〇速ニ作命丙第七號ヲ受領別綴(第十四號)ス

命令

三 一六〇〇左記日命ヲ受領ス

十月三十日 木原

高橋 部隊日々命令

(一) 新兵拜賀式ニ當リ左ノ通り心得ヘシ  
 1. 集合時間及場所 〇八三〇 本町前廣場  
 2. 部隊指揮官 小笠原中尉

表

解散ノ準備 軍装トシテ現地ニ於テ待テシム

4 集合隊形

〇八三〇 副官ヲシテ現地ニ於テ待テシム

四 中隊業務分擔改正 分擔表別綴(第十五號)入

五 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇五

十月三十日

附後兩 我如古

一 〇八五空襲警報發令 敵機未襲報ニ依リ全員直ニ戦闘配備

二 敵キ特機スルモ事故ナク〇八四五解除セララル

三 午前中環境ノ整理

自一六〇〇中隊長全員ニ對シ昭和十九年ヲ省ミテニ就キ精神

訓話ヲ實施ス

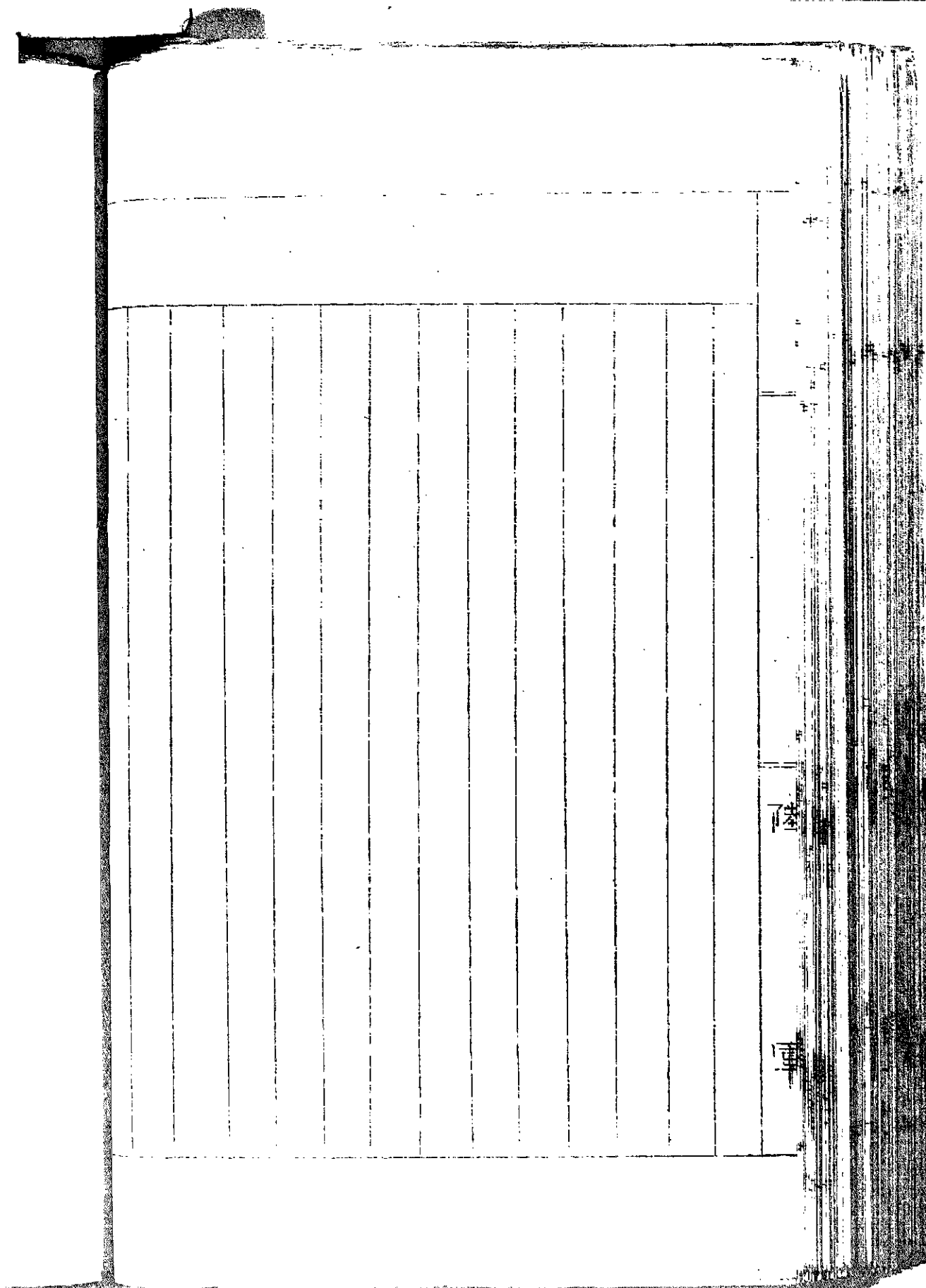
四 現在人員

將校 三 准士官 一 下士官兵 一〇五

別

綴

自第一號  
至第五號





高橋部隊日命令

十二月一日

一陸軍上等兵

同 同 同 同 同 同 同 同

大	田	湯	星	藤	大	高	虎	櫻	藤
湯	中	木	野	本	窪	林	谷	井	田
全	明	文	忠	富	勇	義	武	良	正
治		一	明	藏	作	雄	一	三	七

同同同

宮内秀雄  
内山五郎  
平賀政雄

命陸軍兵長(十二月一日附)

松村武夫

一陸軍衛生上等兵

命陸軍衛生兵長(十月一日附)

一陸軍上等兵

所田伸一  
平良芳松  
高田正  
羽部圓照  
齋藤辰雄

同同同同

同同同同同同同

命陸軍上等兵(十二月一日附)

塚田正義  
川北敏雄  
猪瀬平三  
北村義雄  
北田嘉一郎  
細谷竹藏  
鈴木茶雄  
齊藤誠

一陸軍衛生一等兵

青木恭雄  
佐藤留義

命陸軍衛生上等兵(十二月一日附)

同

一陸軍二等兵

同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同

治部 信夫  
木谷 喜代治  
河合 市郎  
酒向 善三郎  
渡辺 正美  
菊地 一正  
増田 三郎  
岸本 一實  
中村 民治  
中田 良逸  
續橋 義雄  
保木 本伴

塩田 年衛  
高江 幸治  
森本 重  
刀祢 清  
石田 強  
佐藤 忠男  
岡 豊文  
小野 千代丸  
福本 重藏  
吉田 治  
横尾 清勝  
松本 条雄

同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同

佐藤 寅助

市原 義春

西出 光男

藤澤 純治

大野 一男

中川 豊作

加藤 一男

奥山 吉太郎

中村 正

細川 榮作

坊内 直雪

酒井 三郎

青木 貞雄

黒坂 幸依

田守 弘

古井 忠雄

清水 貞幸

佐藤 昌治

田村 定太郎

沼袋 重治郎

安野 仁一郎

加野 輝夫

縮垣 重三

佐藤 仁義

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

菅野助一 河合竹松 菅田直一 田中利一 長谷川順一 佐々木與四郎 西畑宗太郎 原田 蓬三 元 榮一 山本金四郎 大槻 正雄 梅田廣司 高関義正 岸 信一 善光義幸 篠田春雄 岩崎 勝 渡邊 榮 上野正治 加好貞男 叔來菊次郎 小本辰夫 西田辰夫

同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同

門脇 功雄  
片岸 秀雄  
伊藤 登  
藤田 政勝  
西野 幸一  
福井 清美  
土門 長吉  
野崎 朝男  
清水 友一  
菊田 敬一  
小松 之夫  
西條 國雄

福井 平四郎  
齊藤 庄一  
大盛 勇雄  
齊藤 恭二  
山本 昌一  
宮崎 末吉  
小林 豊彦  
宮崎 健雄  
中原 利夫  
倉本 春實  
今三 郎  
仙石 吉義

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

白井重  
明松正夫  
松野一郎  
小澤三郎  
江端勘吉  
傳馬與次郎  
上浦三郎  
神野京二  
木内好  
釜荒清  
中島利男  
佐藤定一

相馬敏雄  
矢野盛成  
西村正藏  
尾崎利雄  
東登  
渡邊政夫  
笠井正美  
西井准悟郎  
新居敏信  
松谷常作  
立崎繁藏  
山本二郎



同同同同同同同同同同

陸軍二等兵

同同

命陸軍一等兵 (十二月一日附)

一陸軍衛生二等兵

命陸軍衛生一等兵 (十二月一日附)

羽山顯一郎

以上

畠山正司

佐藤 壽

東出勇二

高橋隆男

坪田芳吉

阿部十四

林 傳吉

渡邊清二郎

大草七郎

小野正男

高橋 信正

成田 幸太郎

北口伊三郎

香月 威

松本重幸 (未詳)



速ニ作命甲第十一號

獨立速射砲第二十二大隊命令

十一月 十一日 一三〇

一、一號演習關スル旅團ノ企圖石六三旅作命甲第三七號ノ如シ

二、大隊ハ旅團ノ企圖ニ基キ速カニ獨立步兵第十四大隊地帯ノ陣地ヲ完成スル

共ニ西原(我如古)ニ移駐シ主トシテ陸正面ヨリ南下スル敵對シ主カテ以テ獨立步兵第十三大隊ニ部ヲ以テ獨立步兵第十一大隊ノ戰鬥ニ協同シ得ル如ク我如古一八五三高地附近ニ諸施設ヲ完成セトス

三、第一中隊ハ中街道以西(大謝名一嘉敷國民學校一中街道合ス)地帯ニ陣地ヲ占領シ主カテ陸正面ヨリ南下スル敵對ニ部ヲ以テ海正面敵對スル如ク其ノ火カヲ準備スシ

3

四、第三中隊ハ中街道以西(大謝名一嘉敷國民學校ヲ連スル線以南)地区ニ陣地ヲ占領シ主カテ陸正面ヨリ南下スル敵對ニ部ヲ以テ海正面敵對スル如ク

其火カ準備スベシ

九、第二中隊ハ中街道以東一部以テ我如古南端ニ主カリ以テ西原南方地區障

地ヲ占領シ陸正面ヨリ南トスル敵ニ對シ其火カヲ準備スベシ

六、障地、細部ニ關シテハ別命ス

七、障地占領ニ當リテ各隊相互ニ協同シ密ナリシト共ニ關係中隊長ト密ニ連絡

ヲ保持スベシ

八、工事ハ速カニ對空施設ヨリ着手シ遲クモ昭和二十年二月末日迄ニ概成ス

如ク努ムベシ

九、工事ニ要スル資材其他ニ關シテハ別ニ指示ス

一〇、予ハ衛分、間屋當祖ニ在リ

大隊長

高橋

巖

第一中隊

第一中隊

第一中隊

第一中隊

考 備	日 6月2 (土)	日 5月2 (金)	日 4月2 (木)	日 3月2 (水)	日 2月2 (火)	日 1月2 (月)	日 0月2 (日)	日 考
	業	作	業	構	地	障	休 養	移 動 天 山 遊 園
	業	作	業	構	地	障	環 境 整 理	障 礙 修 繕 作 業
					障	中 隊 長		障 礙 修 繕 作 業
					障	中 隊 長		障 礙 修 繕 作 業
					障	中 隊 長		障 礙 修 繕 作 業
					障	中 隊 長		障 礙 修 繕 作 業
					障	中 隊 長		障 礙 修 繕 作 業

下 隊長 高橋 巖  
副隊長 佐藤 文彦  
高橋 巖

第一中隊

特別教育

14:00  
16:00  
13:30  
14:00

作業者三、五分隊及炊事  
作業者数、休業者  
休業者二、四分隊及炊  
事作業者数、休業者  
自5月1日開始  
至5月3日終了  
業務(中心)中隊長

獨速二十三作命甲第十二號

獨立速射砲第二十二大隊命令

十二月九日

一大隊ハ「は號」演習準備多ク速カニ演習態勢ニ轉

移セントス

其ノ第一日ハ十二月十日トス

二大隊本部ハ十日正時迄ニ西原ニ移駐シ各隊ト連絡

5

ニ任ズベシ

作業隊、大平ニ残置シ現任務ヲ續行シ遅クトモ十月  
中旬迄ニ概成ヲ期スベシ

三第一中隊ハ速カニ我如古ニ移駐シ第二中隊ト宿營  
地區ヲ交代シ主カラ以テ曩ニ指示セル陣地構築ニ任  
ジ一部作業隊ヲ残置シ獨立歩兵第十四大隊地區内  
陣地構築ニ任ゼシメ遅クトモ十月末日迄ニ概成  
期スベシ

四第二中隊ハ第一中隊ト宿營地區ヲ交代シ速カニ西原

ニ移駐シ曩ニ指示セル陣地構築ニ任ズベシ

五第三中隊ハ十月十日十二時迄ニ其ノ舊一本隊ヲ獨  
立歩兵第十四大隊長指揮下ニ入ラシメ主カラ以  
テ西原ニ移駐シ曩ニ指示セル陣地構築ニ任ジ其ノ  
一部作業隊ヲ残置シ獨立歩兵第十四大隊地區内  
陣地構築ニ任ゼシメ遅クトモ十月末日迄ニ概成ヲ

期スベシ



六、移駐ニ地方馬車ニヨリ実施ニ自動貨車使用ハ  
最小限度ニ止ムベシ

地方馬車、配当ニ関シテハ別ニ指示ス

七、予ハ十月十二時以降西原ニ在リ

大隊長 高橋 巖

下達法 印刷配布





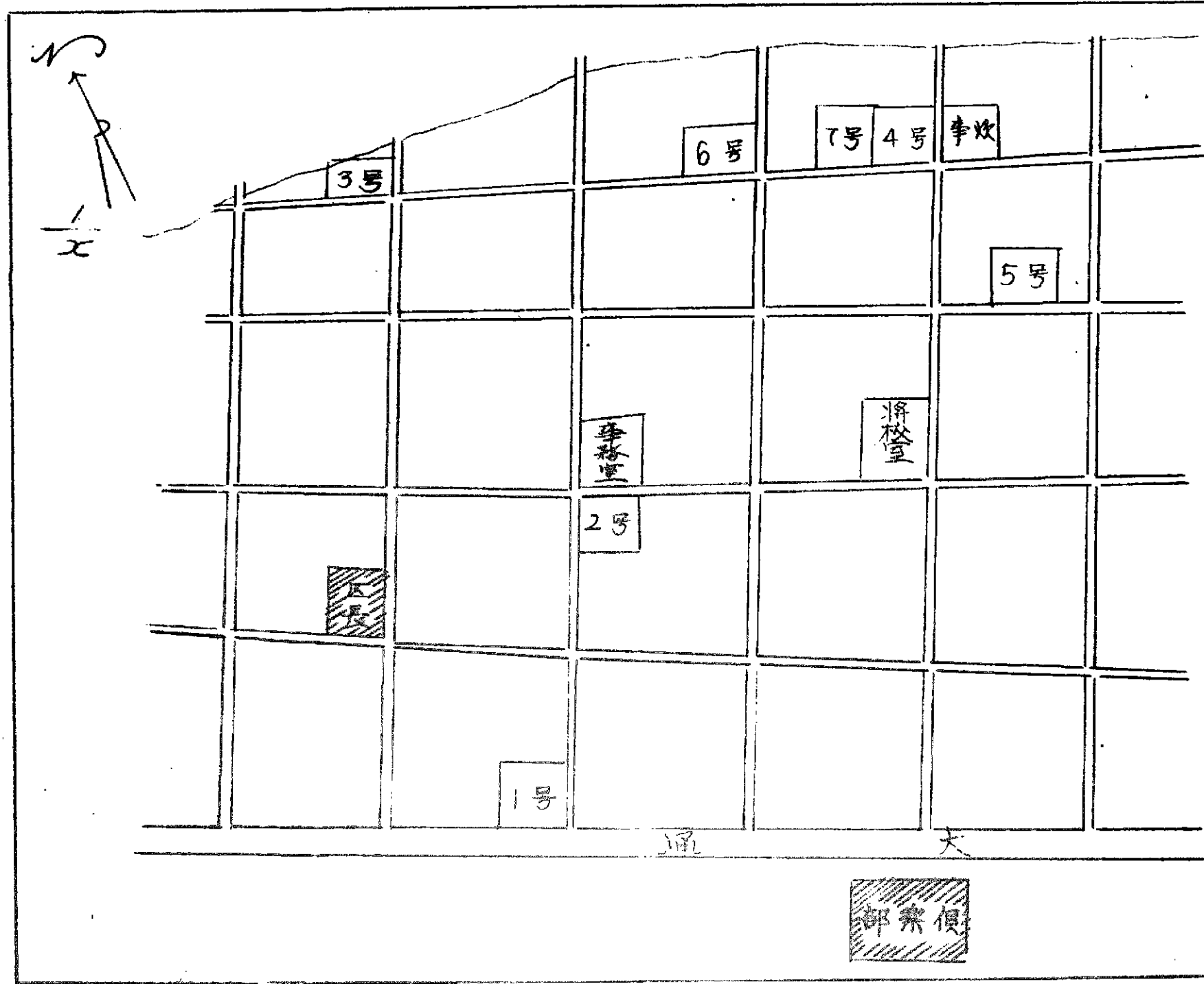
總計	計	第一小隊		第二小隊		第三小隊		事 務	西本 光雄	
		陸軍中尉 高畑 浩		陸軍中尉 高橋 儀助		陸軍中尉 村上 五郎				軍 團 本 俊 男 茂
		第一分隊		第一分隊		第一分隊				
		伍 森 山 武 男	兵 大 定 勇 作	兵 高 林 義 雄	伍 長 谷 川 一 雄	兵 鶴 宮 寅 夫	計			計
上 北 山 榮	上 吉 田 儀	上 花 輪 三 雄	上 荒 木 春 巳	上 計	上 計	上 計	一名			
一 川 北 敏 雄	一 澤 田 勇 作	一 村 上 三 郎	一 山 本 興 正	一 後 藤 涉	一 計	一 計	一名			
一 安 田 茂	一 上 野 欽 義	一 小 野 千 代 丸	一 安 田 留 次	一 計	一 計	一 計	一名			
一 中 村 正	一 上 野 欽 義	一 小 野 千 代 丸	一 安 田 留 次	一 計	一 計	一 計	一名			
一 松 本 勇 三	一 上 野 欽 義	一 小 野 千 代 丸	一 安 田 留 次	一 計	一 計	一 計	一名			
一 大 坪 俊 義	一 上 野 欽 義	一 小 野 千 代 丸	一 安 田 留 次	一 計	一 計	一 計	一名			
一 真 山 貞 郎	一 上 野 欽 義	一 小 野 千 代 丸	一 安 田 留 次	一 計	一 計	一 計	一名			
計	計	計	計	計	計	計	計			
一 名	一 名	一 名	一 名	一 名	一 名	一 名	一 名			
兵 藤 田 勝 雄	兵 菅 順 一	兵 妹 尾 金 一	兵 藤 澤 純 治	兵 藤 澤 純 治	兵 藤 澤 純 治	兵 藤 澤 純 治	兵 藤 澤 純 治			
上 虎 谷 武 一	上 加 藤 實 藏	上 佐 藤 三 雄	上 計	上 計	上 計	上 計	上 計			
上 實 上 勝	上 加 藤 實 藏	上 佐 藤 三 雄	上 計	上 計	上 計	上 計	上 計			
一 米 原 隆	一 大 野 一 男	一 猪 瀬 平 三	一 計	一 計	一 計	一 計	一 計			
一 塚 田 正 義	一 出 雲 路 見	一 石 川 英 男	一 計	一 計	一 計	一 計	一 計			
一 大 田 政 雄	一 加 藤 一 男	一 前 野 勝 夫	一 計	一 計	一 計	一 計	一 計			
一 塚 田 初 太郎	一 黒 坂 幸 作	一 吉 田 治	一 計	一 計	一 計	一 計	一 計			
一 井 元 四 郎	一 奥 寺 喜 六	一 市 原 義 春	一 計	一 計	一 計	一 計	一 計			
一 森 崎 竹 松	一 安 野 仁 郎	一 青 木 貞 雄	一 計	一 計	一 計	一 計	一 計			
一 佐 藤 仁 義	一 上 野 正 治	一 工 藤 德 藏	一 計	一 計	一 計	一 計	一 計			
計	計	計	計	計	計	計	計			
一 名	一 名	一 名	一 名	一 名	一 名	一 名	一 名			
陸軍中尉 高畑 浩	陸軍中尉 高橋 儀助	陸軍中尉 村上 五郎	陸軍中尉 村上 五郎	陸軍中尉 村上 五郎	陸軍中尉 村上 五郎	陸軍中尉 村上 五郎	陸軍中尉 村上 五郎			

出陣作業分隊編成表

陸軍中尉 古山貞一

一九二二一月現任

		小隊長										陸軍中尉 古山貞一					
		一分隊			二分隊			三分隊			四分隊						
		兵長	上等兵	一等兵	兵長	上等兵	一等兵	兵長	上等兵	一等兵	兵長	上等兵	一等兵				
總計	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
總計	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
總計	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
總計	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
總計	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
總計	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計
	計	藤田 弘志	高田 正三	森田 正三	丸井 清	田村 豊文	田村 豊文	羽部 圓照	重田 希久	門馬 希久	佐藤 爲雄	井川 吉松	古井 忠雄	西出 光雄	細川 榮作	衛生 三郎	計

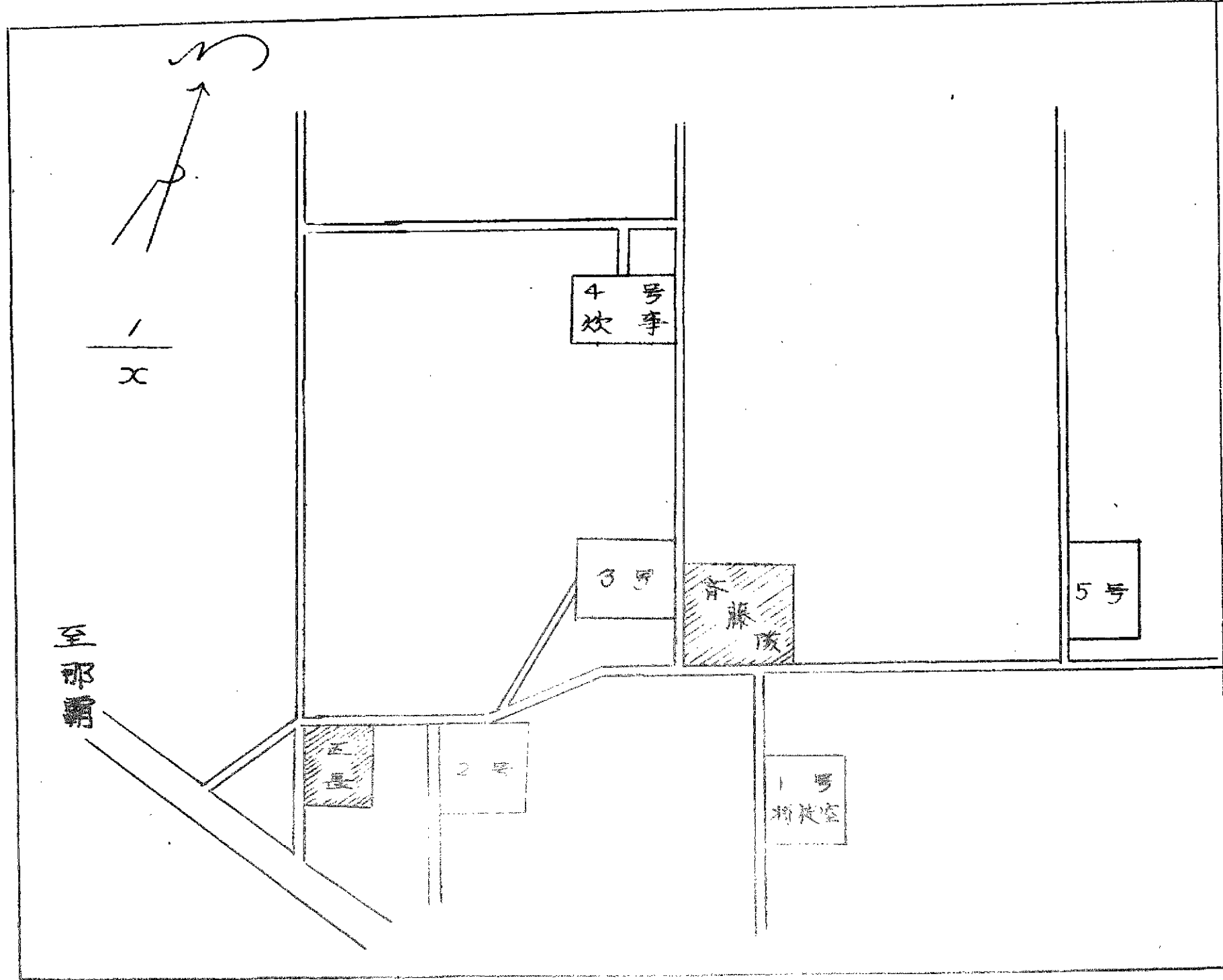


我如古宿營區

西本隊

城間宿営図

西本隊





逆ニニ露命第五號

獨之速射砲隊第二十六隊命令

十二月十一日 一六〇〇  
西 原

一大隊(第一〇隊次)ハ西原ニ本 十一日ヨリ宿營セントス

ニ各隊ハ別ニ指示セル地區ニ夫々宿營スベシ

三部隊備兵トシテ左記人員ヲ第二中隊ヨリ十八時本部前ニ差出シ

服務セシムベシ

服務ノ細部ハ日直士官ヲシテ指示セシム

司令 一 (下士官、兵長ヲ含ム)

歩哨班 一 (上等兵)

歩哨 三 (一、二等兵)

9

四給與ハ大隊炊事トシ第二中隊ヨリ炊事要員ニヲ吉田軍ヲ

1A

ノ指環ニ入リムグシ

正子ノ百須國三ノ後ニ出

大 繁 長

高 橋

藏

山ノ下

大 繁 長

高 橋

藏

考 備	(土) 日23月2	(金) 日22月2	(木) 日21月2	(水) 日20月2	(火) 日19月2	(土) 日18月2	(日) 日17月2
	業	作	業	業 中隊長	構	地	陣
				12:30			
	業	作	業	業 (中隊)	構	地	陣
				13:00	14:30 15:00		
			業 隊	業 隊			業 會 報

第一中隊  
特別教育

12月

考備	(土) 日 6月 1	(金) 日 20月 12	(木) 日 28月 12	(月) 日 25月 12	(日) 日 24月 12	課 目	課 目
						午前	午前
	業	人 作	日本精神警察 中隊長	大東基榮 中隊長	障		
	業	人 作	07:50 08:20	07:50 08:20	障		
	業	人 作	三輪金線防接線道	本署防接線道	障		
			13:30 14:00	13:30 14:00	障		
			放母名 (將放以之)	作業會報	障		
		今	放母名 在署係防接		障		
		者			障		

自 12月 25日  
至 12月 31日

第一中隊  
第一中隊  
第一中隊

第一中隊

特別放會

12月

考備	(土) 日6月1	(金) 日3月12	日 臘 分
	業	業	午前
			課目
			時間
			午後
	業	業	課目
	三番隊後防隊	精補訓練 野戰大車手習 仲隊長	時間
	13.30 14.00	16.00 17.00	特別教育

至一月六日 第一八連留守備用並履責者

考備	(土) 日30月12	(金) 日24月12	日 臘 分
	業	業	午前
			課目
			時間
			午後
	業	業	課目
			時間
			特別教育

自一月六日 第一八連留守備用並履責者

自一月六日 第一八連留守備用並履責者 第一中隊

考備	(土) 日6月1	(金) 日5月1	(木) 日4月1	(水) 日3月1	(火) 日2月1	(月) 日1月1	(日) 日3月12
	業	業	業	業	陸	陸	陸
				精神訓練 元怡米三教子 中隊長		四方種式費並二 式排及年頭感 中隊長	
			勸諭恭讀天				
			08.50 08.50	08.50 08.50		08.50 09.00	
	業	業	業	業	陸	休	陸
	三養後後後後後		未測後防後後後			精神訓練 器及年三子 中隊長	
	13.30 14.00		13.30 14.00			16.00 17.00	
							特別教育

自三月至五月  
至一月六日  
第一八週守術科通問  
第一中隊

一日前長時時敬禮節節



速ニ作命内第六號

獨立遠射隊第三大隊命令

於 三月二十九日 原

一、大隊ハ各中隊(第二中隊ヲ除ク)作業地區ニ對シ通信網ヲ  
構成セントス

二、第一、第三、中隊長ハ自隊通信兵ヲシテ架設シテ三月三十日

迄ニ構成ヲ終ルベシ

三、兵器材料將校ハ通信網構成ニ要スル資材器具ヲ交付スベシ

大隊長 高橋 巖

下達法 命令受領者ニ口達等ヲ記セシム

12月

獨立速射砲第二十二大隊命令

十月三十一日 原

一、大隊ハ全武附近ニ木材伐採隊ヲ派遣シ、築城用枿殊木材ヲ伐採セシメ、之ヲ後送シテ各隊ニ交付セトス

二、第二中隊林中尉ハ木材伐採隊長トナリ、別紙第一ノ人員車輛ヲ指揮シ、全武於テ師團木材伐採隊長(六四旅新見大尉)ト協定シ、前項ノ任務ニ當ルベシ

三、各隊長ハ別紙第一ノ人員車輛ヲ十月廿八時迄本部前庭出シ、林中尉ノ指揮ニ入ラシムベシ

四、伐採ニ要スル器具並携行糧秣ニ關シテ、掛將校ヲシテ交付セシム

五、細部ニ關シテ林中尉指示スベシ

大隊長 高橋 巖

12月



下達法 命令受領者口述筆記

速 = 作命丙第七號別紙第一

木材伐採隊編成 (人員車輛)				
隊區分	人員	車輛	下士定	兵
本部	二			六 二二
第一中隊			一	六
第二中隊			一	五
第三中隊				三

0/12TA  
月

番 号	中 隊											介 担 区 分
	現地自治	防 謀	保 育	物 品	給 養	被 服	庶 務	内 務	功 績	兵 器	三 要 擔任	
一、本業務介担表ノ如ク定ムルモ相互連絡ヲ密ニシテ円滑ニ実施スルモノトス	高橋准尉		高畑中尉			高畑中尉			高橋准尉	古山中尉	掛將校	
	森山伍長	岡本重曹	鈴木伍長		鈴木伍長	岡本重曹	岡本重曹	村上曹長	長谷川伍長	竹浪伍長	掛下士官	
			竹岡、兵長 羽山一等兵		古川上等兵	菅 兵長		小田 兵長 佐藤上等兵 福下一等兵	(X)藤田、兵長 小高、兵長 小高、兵長		岡 剛 手	

業務介担表

昭和一九二三年三月三日

第一中隊